

本試験課題と予測課題との比較検証

- 本試験の課題内容と研究会の予測3課題との比較検証について、図面は表1に、計画の要点等は表2に示す。
- 表1に示すように、図面で予測できなかったのは、製図室です。ただし、名称は違うが他室があり応用で書けます。特に予測課題3は、階数自由、床面積指定なし、講堂は段床形式、免震構造、道路斜線の全てにおいて的中した。更に、今年は7×7スパンの単純書き潰しとして50㎡以上指定が出たが、それは予測課題2での50㎡以上と同じであった。
- 表2に示すように、計画の要点等で予測できなかったのは、(1)の一部、(6)ですが、(1)は動線計画等を応用で、(6)屋上設備はR5と同じ問題なので研究会のR5解答を見ていればそのまま書けます。その他(2)～(5)は予測課題と全く同じ内容であった。
- 表1と表2からも明らかのように、研究会の予測3課題は、80%以上の的中したと判断できます。

表1 各予測課題の比較一覧表

各社	課題名	建設用地		階数	指定床面積 以上～以下 (㎡)～(㎡)	東西南北の条件				要求室										屋外 他施設	駐車場 (台)	備考			
		規模 (㎡)	横 (m)			縦 (m)	東	西	南	北	教育部門					共用管理部門							設備 設備指定条件等		
											大講堂	教室	研究室	図書資料	ラウンジ	製図室	事務室	会議応接	ゴミ室					食堂 カフェ	室他
本試験	R6課題	1,680	48	35	自由	無し ~ 無し	道路	道路	隣地	隣地	300席	大80人 中50人	50㎡ 計18室	100㎡	適宜	製図 計1700㎡	50㎡	適宜	適宜	50㎡	備蓄 適宜	受水槽、消火ポンプ、屋上設備	屋上庭	椅1	階数自由、床面積指定なし、講堂は段床形式、免震構造、道路斜線、50㎡以上
研究会	予測課題1	1,728	48	36	7階	7,200 ~ 7,800	隣地	隣地	道路	道路		大160㎡ 中80㎡ 小40㎡	20㎡ 10室		40㎡		6人	適宜	適宜	レストラン		地下へ受水槽室、消火ポンプ室、不活性ガス設備室、屋上設備	屋外テ	椅1 サ1	アトリム、エスカレーター、キャンパス動線、B1設備立体駐車、GL-20mN10
	予測課題2	1,850	50	37	3階	1,800 ~ 2,200	隣地	隣地	隣地	道路		大120㎡ 中60㎡ 小40㎡	25㎡ 10室	50㎡		共同 50㎡	6人		8㎡	カフェ 20人	備蓄 50㎡	設備スペース	屋外広 憩広場	椅1 サ1	勾配敷地勾配屋根、車回し車寄せ、隣地駐車動線、B1平面図、耐力壁、部門指定なし、全通路1.8m以上、50㎡以上
	予測課題3	1,700	34	50	自由	無し ~ 無し	隣地 同敷地	隣地 同敷地	隣地 同敷地	道路	300㎡	大80㎡ 中50㎡ 小30㎡	25㎡ 6室	50㎡	30㎡ 40㎡	生涯 100㎡	8人	適宜	10㎡	食堂 50人	備蓄 30㎡	受水槽、消火ポンプ室、屋上設備	屋上庭 屋上テ	無し	階数自由、床面積指定なし、大講堂は段床形式、免震構造、吹抜エスカレーター、道路斜線と北側斜線

表2 課題(計画の要点等)の比較検証

赤字は推定できた、青字は推定できなかった

	本試験の課題内容	研究会(計画の要点等まとめ)
(1)	施設の機能構成、配置・動線計画等について①～④の観点から配慮 ①建築物の教材化、②セキュリティ、③多様性への配慮、④交流の場	セキュリティは、まとめの「計画3セキュリティ」で解答可能、他は問題としては無いが、まとめの動線計画等の内容を応用すれば解答可能
(2)	基礎免震構造の外周部のクリアランスの考え方及び安全性について考慮	まとめの「構造10免震構造」をそのまま書けば解答可能
(3)	講堂の天井等落下防止対策について考慮したこと	等まとめの「構造7高天井の天井等落下防止対策」をそのまま書けば解答可能
(4)	学生・教職員の帰宅困難者の一時滞在に必要な給排水衛生設備、その他計画	まとめの「設備4地震災害の対応」をそのまま書けば解答
(5)	講堂に採用した空調方式と、採用した理由及び配慮したこと	まとめの「設備6大講堂の空調方式」をそのまま書けば解答
(6)	屋上等に設置する①～④の設備の配置と配管とした理由など計画の考慮 ①太陽光パネル、②キュービクル、③設備配管取出し口、④空調室外機等	まとめでは書いてませんが、R5の問題と全く同じであり、研究会のR5記述解答を見ると解答可能